

「反原葬」みたいにならんとワァーと日本中で声があがる、なんてことにはならん。

◆ 「死刑」はアカンのか。

◆ そんないけど、かたつむり、の意味は、ほんまに小さな小さなグルーブでも、めげんと死刑廃止の声をあげ続けてる、ゆうことが大事やねん。

◆ そらわかっているがな。

◆ 人が寄ってこんからというて、芝居したら人が来ると思いうのがまちがいや。



◆ アカンかな?

◆ オーに、かたつむりの顔ぶれみてみいな。もうおはん、おじんばっかりや。誰が役者いう頼してる?

◆ よけい人が逃げてくわ。

◆ せ、かくみんなハリキツてるのに……

◆ (ここんとこ決着のじり貧やから、こころでバァンと花

火あげて、がんばろいう、そら気持はわかるで。

◆ あんたは「また集かいな」ゆうたやろ。そんな集かいのイメージを変えよういうんやけど……

◆ 芝居やいうても結局、集かいのワワは抜けられんやろ。集かいゆうたらもうパターンが決まってる。この頃はよせてもだいぶやわらこな。てきたけど、まず司会があいさつして、主催者側から基調報告みたいなもんがあって、それから講師先生のお話が一時固くうらいて、あと、いろんなグルーブから型どりのアピールなんがあって、ちよっとオマケがあったとしても、アトラクションの映画かスライドか歌ぐらいで、まあそれでおしまいやな。

◆ どうせ、こんどやるのもその変型を出えへんやろ。

◆ 集かいにいく、いき方のパターンとしては、講師の名まえにひかれて、ぜひその人の話が聞いてみたいと思ていく、というのが一つある。

◆ 主催者もこれをねらうから、有名人ということになる。

◆ それから、講師いかにかわからず、集かいの内容そのものが、たとえば3月15日にあった「やめよう元号」集かいみたいに、いま、この時期に天皇制に対して、こっちの意

志を表わしとかなアカシーと思って、話を聞きに行くというよりか、集会がおもしろくてもおもしろなくても、姿勢として参加するいろいろな行き方がある。

◆ いままで集会というのは、その二つの参加の仕方を吸収するために、せいぜい工夫してたといえるけど、それが限界で、

◆ いずれにしても、「集会」というイメージが出来上ってしまてる。

◆ そうや。そんでうちら、こんどそのイメージをひっくりかえして、「どや、これが集会や」というのをバターンと打出そうとしてるねん。

◆ それが6月17日の、劇団がたつむり、大公演ちゅうわけっ。

◆ ハイな。

◆ そんで集会やめて芝居するんか。

◆ 「これが集会や、ちゅう、はじめから終りまでを演出して…」

◆ ロではなんともいえるやろ。

◆ 集会をやるとしたら、まず実行委員会をつくって、何

でやるか、どんな意味があるか、基調報告は？決議文は？
ーと、まずケンケンガクガク。講師は誰にして、予算はどれくらい、ビラは、ポスターは、ともうエライこっちゃ。

◆ そのわりにはどこもまあ同じや。

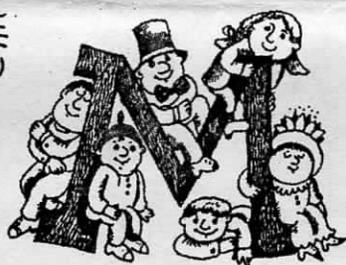
◆ たとえば「小説」をつくる、「絵」をかく、いうことになったら、主題はこう書くべきで、絵はこう構成されるべきであるなんて、なんぼりワツが立派でも、出来上ったしるもんがな、てなかつたらどおしようもないやろ。

運動がて同じで、「死刑廃止でも原発でも、なんで集会するんか、なんでデモをするんか」やう議論はいっぱいやられてきたけど、どんな集会にするか、どんなデモにするかということに、ほとんど力が入ってエへんやろ。

◆ そらまあそうやな。

◆ そんでうちらは今まで、なんでも議論は簡単にして、もっぱらどんなふうにしてやるか、いうことに力を入れてきたんや。

◆ そういやあ、あんたら、いままでも湯才やったり、コントじたてにしたり



して、いろいろやっ、てたわなあ。

◆ 大阪名物、反日タコヤキ団の全国巡業おぼえてる？

◆ おぼえてる、おぼえてる。「黒デント」と並んで「演劇評」がのってたやろ。あれはおもしろかった。

◆ そんなでな、こんどの6月17日はな、かわら長介さんに一枚加わってもろてやるんや。長介さんの演出で、その一党の人にも助けてもろて。

◆ かわら長介さんて？

◆ はじめ、死刑廃止のテーマで芝居してるいうんで、一耳ほどまえ、かたつむりの会で、戎橋の吉本ビルに観にいったんや。目からウロコが落ちるいうんはあのこ、ちやな。

◆ 死刑なんて深刻なテーマを、こんなコメディのドタバタタッチでもやれるんや。うちらもやっばし、なんやかんや云いながら「死刑」の重さにしばられて、発想の転換がでけへんかったというのがそのときよおわかった。

◆ それから……

◆ うん、長介さんはまえから「死刑と天皇制にこだわって、はって、それをテーマにした芝居を、本私の台向にしてはるいうことで、かたつむりの会員になって集会にもきはる

ようになったんや。

◆ 本職てなに？

◆ 吉本の漫才作家で、テレビなんかの演出もするんやて。「夜はくねくね」いう夜11時すぎの番組知ってる……

◆ それみたことあるわ

◆ 長介さんからぎくと、演出ちゅうのは、別に映画や芝居にだけいるもんやなくて、人にもてもらおうという限りどんなことにも必要なもんや。討論会や生中継かて演出というのはあるんや、と。

◆ そいで、わたし、集会かて、演出というのがあってもええ思たんや。

◆ なるほどな。

◆ はじめの企画は、「講演会」で、「死刑からみた昭和史」ってことで、一時間京大の池田落士さんに話をたのんであったんや。



◆ やっぱり講師をよんでくるんかいな。

◆ もうちよ、と工夫して、人もせめて二く三百人あつめんと：と見て、そのことで相談したら、長介さんが、集金するのは長時間なんぞすねえーといわはんねん。

ひとを一時面も集中させておくのは、ものすごくむづかしいーと。

◆ で、長介さん・池田さんの話の最中に芝居でわりこみた
い云いはってな…

◆ ホー・そらおもしろそうやな。

◆ 池田さんに電話したら、せんなん好きな人やから、やりましようやりましようーゆうことになつて…

◆ 芝居いうことになるよ。シロートではでけへんで。あんなら役者するんかいな。

◆ 芝居に出るとかなんとかいうよりも、集金が全体として揃出されたドラマで、講演も芝居もその中にしけこんでしまふようなものをやるういうてるねん。そやから、企画・制作・構成・劇団かつむりーいうわけやけど、芝居いうと練習せんらんし、本格的な部分は長介さんとその仲間の人たちにたのんで助けてもらう。

◆ そら、あんたらもちよ、とは出た方がエエで。

◆ そいでな、会場がて予定してたとこやめて、どっか舞台があるところやないとアカン。

◆ いままであんたら舞台つく、たらアカン。集金はやるもんとして観るもんが固定されてしまふよって、出来るだけ平場でーとゆうてたやる。

◆ いまかてそおや。イス席より畳の方がザックリバランスな雰囲気がつくれるし、ええと思てる。けど、やっぱりそれも固定化してもたらアカンわけよ。

◆ こんどは、舞台を設定することで、そのワクをどうするかという両方のキンキョー関係をつくり出すんや。

◆ 次から次に型を破るゆうわけやな。

◆ 千ラシのビラがて、今回

はなにしろ死刑廃止の層を質的にも広げる実験やからいっぺんプロのコピー感覚でつく、てもらおう。紙もガラ紙やなくてつるつるのにして…ということになつたんや…



◆ あんたらのビラは、いまだきもうめずらしいキがきの
ファックス。いつも自分で印刷してたのが、かえって味あ
ったで。お金もよけいかるし。

◆ もちろんビラは何種類あつてもエエさかい、うちらも
つくる。

◆ で、会場はどおなつたの？

◆ 船場の島の内小劇場や。

◆ ああ、まえ幻舟さんの芝居みにいったキリスト教会や
な。

◆ 入場料も千円か千五百円とるつもりやねん。

◆ エー！ いままで、かたつむりの集会ゆうたら、せ
いぜい三百五十円やる。

◆ 長介さんがいわはんのには、入場料が高いいうことは、
それだけお客さんにも「金出して行つて観る、」ゆう気持
を、きばつて出してもららうーいうことやねん。

◆ なるほど。まあ、きょう日、映画なんかでも千六百円
もするもんや。

つくつては破り、つくつては破りするというのが新しいも
んを創り出すゆう意味やな。

◆ 入場料千円なんて、うちらの発想ではなかなか出てけ
えへん。

そういう意味でも、長介さんと組むのは刺激的やねん。

こんども、よし、やるかと。みんなはりきり出した。

◆ そやけど、そうやって、「これが集会や」いう新しい
スタイルを創り出すんはエエとして、それと死刑廃止運動
と、どお関係していくんや。

◆ うん、それは、そう一直線に結ながつてエヘンねん。

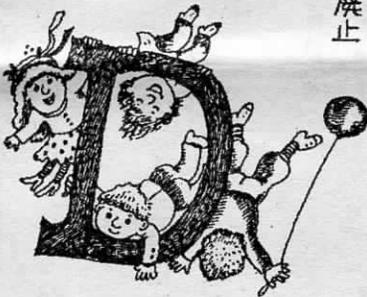
そこんこでも、今までの考え方を根本から変えるいう
ことや。

◆ 運動の質を変えろとか、集会を新しく
創るーというたかて、何も死刑廃止
の運動だけに限らへんで。

◆ そらその通りや。

「死刑廃止運動のことだけや
なく、「運動」みんなげー

んぶの問題や。そういうこと
での、逆にまた死刑廃止の向
題であり、反原発の問題であり、



ら印刷...という進行です。刊行はすこしおくれで与口中・下旬?。ところどころでせつかく出してくれる。径書房にソンスせては申し訳けないので、一生果命をうんとアカン。よろしうお購み申します。存

三里塚の問題であり、天皇制反対の問題やーということになる。

◆ そらまァ理ワツでそういえても、そう拵げてしまたら個別の運動を具体的にいつするねん。

◆ あんたなァ、そうあせつたらアカン。

◆ あせるなゆうたかて、(ここんとこ裁判所は死刑判決をジャンジャン出して、いつ殺られるかわからへん、状態の死刑囚が、いま現在38人もいるゆうやんか。

◆ そらそうやけど、こうしたらいますぐ死刑制度をやめさせられるいうエエ手があるか?

◆ そらない...

◆ 世論調査なんかに



出てる結果では、死刑が必要
と、思ってる人の数の方が圧倒的に多いんや。

政府はこれを理由に廃止するのにはまだ早い、といってるわけ。これは屁理屈やけど、やっぱり、反原発ほごぐらいには、世論ちゅうの

をもおちよ、と動かさなごおしよおもない。

◆ まあ、そうやな。

◆ 運動ゆうのは、死刑廃止の声をひろく世間に訴えるーいうことやる。みんなの応援をもとめるーいうこと、ちや。

◆ そうや。

◆ とこが、運動は、そうやって、たてまえては、出口をひろく大きくあけて、みなさーんって呼びかけているんやけど...

◆ 実際は、とても肉鎖的や。やっぱり、あたしなんかでも、反原発には行きやすいけど、「死刑」ゆうたら行きにくかったもん。

◆ 反原発がひろがったんは、昨年の四国伊方の出力調整実験反対運動で、運動の体質が大転換したからや。

◆ あたしも伊方以後やもんや。

◆ 一方、出口を大きく広げるゆうたかて、入口の内札には「死刑」ゆうイカメシイふたがかかっている。

◆ この運動も、みな通底して、根は、いっしょやゆうたかて、入り口は、みなそれぞれ別々にあって、入ってみると、ざーと奥がまだまだ深いですよーゆうて、なかなか

となり頼出せへん。

◆ みんな興が好きやからなあ。

◆ 一人一人の人間でみてみたら、たとえば、「ボク、ミュージシャン」なんて云ってる人から、朝から晩まで音楽してるわけやなくて、めし食ったり、テレビ観たり、仕事したり、映画にも行ったり、集会にも行ったりしてるわけやんか。

◆ あたりまえや。

◆ いろいろやっていることが、それで一個の人間の自身としてはミュージンも対立もしてないし、なんぼミュージンヤンでも、音楽だけで生きてるわけやあらへん。



◆ ごく自然にいろいろやってる。

◆ 運動かて、同じやと思ふねん。

「死刑廃止」というカバンかけてても、それだけを専門に興をきわめれば、死刑制度がなくな

るというわけにはいかへんのや。

◆ そら、敵側は、わたしら人民をあの手この手で、それこそ総合的にせめてきてるんやもんな。

◆ 運動の質をかえるーいうんは、そのことやねん。

◆ うん？

◆ さっきのあんたの、「運動の質を変えたら死刑がとまるんか」ゆうような質問が出るちゃうように、やっぱり、まだ、みなこらわれてるねん。

◆ やっぱり、運動を特種、専門化している…

◆ そうや。

集会を演出したり、芝居をやったら死刑がとまるか、いうたら、さらとまらへんのは判ってる。運動の質が変わるかどうかも、実験やからなんともいえんけど、少くとも「死刑」というカバンのとなり芝居もかかげることで、向口はまえよりずっとなくなって、入りやすくなることはまちがいない。

◆ なーる。

◆ あんた2回まえの「反日ヤジ馬大博覧会」おぼえてるかー。

ないけど傍聴席をパイにして「東京移送」を阻止したい。応援たのみます。来れる方は電話連絡を06-6740-09へ

◆ 「東アジア反日武装戦線支援」いうて、中の島中央公会堂でやった。あれ、ほんまに千二百人もよお集ったなア。わたしもヤジ馬で行ったけど……

◆ あのとぎのプログラムで、十数グループが、一団体10分15分それぞれ出演して、そのグループの主張したいことを好き勝手に表現するというのが、メインの一つにあつたやろ。

◆ 次から次へ、いろんなグループが趣向を変えて出てきて、ふーんと感心したわ。うちの友だちも「指紋押捺拒否」のグループで、指の形したズックかぶって、10人くらいで踊ってた……

◆ あのプログラムを決めるとき、「東ア」に關係ないもんは2時間も使うんはおかしい。いうて、ちよつと実行委でもめた。

◆ せやろな。出演する方にしても、なんか東ア：に關係したこといわなアカンって、フツーは考えるもん。私の友達かて、「グループの特色や主張だけをうんと出して……」いわれて、その気になつたやうてたわ。

◆ つまり、運動の質が閉鎖的か開放的か、集会が開かれ

てるかどうかいうのは、そのやり方や姿勢で、どれだけまわりの人とつながろうとしてるかやと思っうねん。(自今より)

◆ 「反日ヤジ馬博」もそうや、たけど、こんどは、もつとそこんことを意図的積極的にやる、いうことやな。

◆ 「一団体、いつまで、いままでみたいな集会をやっててエエンか、これがほんまの集会いうもんや」という見本！を、いまうちらが創ること、その結果として「死刑廃止」の声を、日本中にひびかせるんや。

◆ 能書きだけ聞いている分には、おもしろそうやけどな。◆ あの「反日タコヤキ団興行」を観てない人が、いまでも「しもたなア」というてるけど、そんなことにならんように、**全国のみなさん！**

6月17日(土) 忘れんとぜひきてやー。

◆ とまかく、鬼が出るか蛇が出るかー。

楽しんでしてるでエー。



(H&K)

うかいから

▼3月5日(日)

なにがなんでも原
発に反対する女たち
のグループが主催で

非暴力トレーニングをやる。全部で30人近くの参加やったけど、東京や九州からの参加もあっておどろいた。この日のトレーニングのことをまとめて先月の「非暴力」に書くつもりやったのに、途中まで書いていて、なんだかんだと忙しく見送ってしまった。未だにもななければ、このことについて書くつもり。

▼3月10日(金) かつむりの会例会。もうおとしになっ
てしま、たけど、^{デモ}吉田智弥さんを呼んで、「死刑制度賛成vs反対」の討論会をした。吉田さんが賛成派でかつむりのメンバー7人が反対派で立ちむかった。結果は、かつむりの方の負けやった。というのはこの討論を聞いていた人たちのほとんどが、吉田さんのほうに共感をいだいたからである。死刑制度には反対といひながら、殺人を犯したものの責任の向題やとか、死刑を否定したあとの向題やとか、具体的な現実的な向題に直面すると、とてもゆ

らぐ部分があつて、それが吉田さんの反論に共感がいったのだと思う。そういう意味で、この時の討論会は、とてもおもしろい体験やった。いま、これをパンフにしようとしているところ。たのしみにしていて下さい。

▼3月11日 札幌の反原発グループ、ほっけの会、ゆの会の子二人突然訪ねてくる。沖繩に行く途中だという。泊まる場所がないというので、一泊していく。

▼3月12日(日) 毎日30分ほど散歩をしている。歩くところの働きがよくなるそうや。以前WR事務所に借りていた畑にまわると、^{ほたて}加莊はきれいに取っばらわれてしまつていて、くすの木も切られてしまつていた。ああ、ああ。

▼3月14日(火) 太田くん栄さんのさそいで、嵐山に湯どうぶを食べに。ゆつたりして心なごむ一日。

近衛文磨が^{あま}別荘がわり
りにしていたという
松頼庵はちよつと
奥まったところになつ
たりとあつた。客は

私たち四人だけやった。



▼3月15日(水) 「やめよう元号」集会へ。かわら長介さんたちがどんなコントをしはるか。一番前に陣どって観る。中え島公会堂大ホールは、七割方うまうま。日高六郎さんの講演が歯切れが悪かったのは、いまの憲法を守れという立場から、象徴天皇制は認めるという人たちともいっしょに元号には反対していいこうという中広い運動をめざそうというこのためやったのかな？ それはええけど、私なんか象徴天皇制こそが問題やと思ってるねん。

▼3月17日(金) 向井さんひと足先に大山へ。「ミシシッピーバーニング」を観る。アメリカの悪と正義...

▼3月18日(土) 号外新聞の国賠訴訟が東京に紛れさせうなので、そんなことされたら食えんは裁判やめると云われるのに等しいーと 意見書を書く。次回の公判



は21日3時からです。

時間つごうつけられ

る方、きてください

るところうれしいです。

▼3月19日(日)

住之江の地域で反

原発をやりはじめた小さなグループもみじの会が久米三四郎さんをよんで講演会。いつもWRの発送を助っ人してくれる坂やんもこのメンバーなので、出かけていった。60人くらいもきていて、まずまずの入り。講演のあとの喫茶店で、久米さんが「：なんかあるたんびに原発におしかけるのはボクなんか反対やな。あれは敵の土俵にあがることや。やっぱりグリラ戦やないとアカン。学習会や講演会には、反対派の講師をよぶんやなくて、原発をひっぱり出してこなアカンわ。本を読んでも電力会社の出してるパンフを読んで、キキツとそれに反論できるようにならんと。：。反原発の専門バカになるな。勉強しすぎて、足もとをすくわれる。あくまで素朴な疑問を質問するんや。：。と。私にはとても納得いく話やった。

▼3月20日(月) 女グループへ「非暴カトレーニング」の感想を書いて送る。「反原発新聞」発送。

▼3月22日(水) ナミビアウラン購入に抗議して、原発へ電気ボイコット申し入れ参加。私も26日から大山に行くので、みなよりちょっと早目に、26日から電気をボイコットすることにした。家を留守にするたびに、ボイコットの

申し入れをするというのでもおもしろいね。

▼3月24日(金) かつむりの会例会。東アツア反日武装戦線の彼らに判決がありてから、まきようでちようど二回目になる。再審弁護人になろうとしている弁護士との面会まで妨害されるといふひどい状況の中で、しかし彼らは元気に頑張っているのだ。みんなで寄せ書きをした。

▼3月26日(日) ながたき君のグループで、4ビ・ハ4・ドンをつれて大山へ引越し。栄さんついてきてくれる。意外と早く途中一時休けいして三時頃ほどでついた。猫たちも酔わず元気。

▼3月29日(水) たけもとのびひろさん、大山のわが家へ。ちようど桜が満開で木増川せいに散歩してお城近くまで。こつやって三人でしゃべりながら歩いたり、お酒のんだり笑ったり出来るなんて、鉄格子の向うとこつちで話すのんとは決定的にちがう。ほんまに楽しい一日やった。たけもとさん一晩泊まって朝早く岡崎、それから姫路へ。

▼3月30日(木) 6月17日のかたつむりの集会にかわら長介さんも加わってもらえることになって、その打合せに大阪へ。長介さんはもうずっと仲向ってかんじやった。

宇利乃加万の安んぎ茶 雲天雨乃思哉

▼4月1日(土) 断食。ゆうべ食いすぎたから。

「エツヤナイカ花のゲリラ戦記」の校正。

▼4月3日(月) 名古屋から堀田さん。酒と弁当を持って木増川の土堤で花見の宴。しかしこんなによこい桜並木がえんえんとあるのに誰うれもない。これが大阪や、たらえらい騒ぎやろな。
(ふう)

大山へ移りました。

お知らせ

当分のあいだ(9月10月ごろまで)郵便や電話は左記へおねがいします。向井孝・水田ふう)

大山市(愛知県)うかい(鶴飼)町六六六

電話 〇五六八・六一・五八五〇

▼引越するや否や木曾川堤やお城や市内至るところの桜が一せいに咲き出して歓迎してくれました。これからはすずらんです。みんまて下さい。藤の

★ 大阪へは月に数回戻りますのでは階はそのままです。

一部 百円(送料)・年間 カンパ 千五百円